



のせでん沿線の「道(径)」をご紹介します!

多田街道 多田神社から巡礼街道の辻

源満仲公によって建立された多田院(現在の多田神社)は、清和源氏発祥の地として中世・近世から信仰を集めていました。当時の主要道である西国街道や西国巡礼街道から分岐していた阿古坂(あごさか)の峠を越える多田街道跡を逆方向から辿りましょう!

Googleマップによる詳細なルートは二次元コードよりご覧いただけます。迷いやすいルートなのでこちらを推奨します。



※写真内の赤い矢印は各案内文の下線部付近の経路を表しています。



01 西多田交差点の信号を渡って、少し手前に引き返したら灯ろうのある場所を南へ。住宅街の細い道に入ります。



02 住宅街を道なりに進むと、多田街道の案内看板が右手にある十字路が出てくるので、左折し能勢口方面へ。



03 さらにしばらく進むと、県道12号の高架手前にも多田街道の案内看板が出てきます。右手の高架下をくぐります。



04 高架下を通り抜けたら、すぐに左折。緩やかなカーブを上ると車止めが出てくるので、それを越えて進みます。



05 進んだ先にある短い階段を下ります。反対側に渡って坂を下り左へ曲がります。



06 その後、アップダウンのある坂道をしばらく進みます。鶯が丘交差点を右折し、次の信号で反対側へ渡ります。



07 少し坂道が上がると、今度は下り坂に。道なりに進んだら突き当たりのT字路を右折。



08 住宅街を進み、理髪店と横断歩道を目印に交差点を左折。そのまま直進し、阿古坂を下ります。



09 約15分ほど道なりに進み、県道につながるY字路を右折。そのまま車道へ向かいます。



10 広い県道へ出たら左手にある交差点を西側へ渡り、県道沿いにある歩道の奥側の道へ斜めに入ります。



11 阿古坂の道中では、道標になる大きな灯ろうや歴史を感じる家並みを見ることができます。



12 県道沿いに出たら右折し直進します。川西能勢口駅の高架下を抜け、交差点角に古い道標を見つけたら到着です。



のせでん

2024
~春号~
Vol.80

能勢電鉄とお客様をつなぐ沿線かわらばん

撮影場所/大阪青山歴史文学博物館

能勢電鉄 路線図

